

受付	個人質問	第 号
	令和 年 月 日	時 分

## 一般質問＜個人＞発言通告書

令和8年5月25日

長久手市議会議長 殿

長久手市議会議員 水野勝康

会議規則第59条第2項の規定により下記のとおり通告します。

	質問事項及び要旨	備考
1	<p><b>本市における職員の離職について</b></p> <p>全国的に公務員の離職が問題になっている。実際に公共サービスを担うのは現場の職員であり、職員の定着と離職防止は公共サービスを質・量ともに維持するための基本条件であると言わなければならない。公務員・民間を問わず、離職の理由はネガティブなものからポジティブなものまで様々であるが、予測されていなかった離職は人員の配置や活用に関して多大な問題を生じさせる。</p> <p>人事上の課題は個人情報とも関係してくるだけに答弁しにくいところもあるかと思うが、本市における職員の離職について伺う。</p> <p>(1) 直近5年間における本市職員の離職状況について            ア 正規職員の定年退職以外の離職状況はどのようなか。            イ 正規職員の定年退職者について、定年後の再任用を希望しない職員の人数と割合はどのようなか。            ウ 会計年度任用職員について、年度途中の離職状況はどのようなか。            エ 会計年度任用職員について、再度の任用を希望しない年度末での離職状況はどのようなか。</p> <p>(2) 職員の離職理由を把握する取組はあるか。            (3) 若年層（概ね30歳代まで）の離職についてどのように考えるか。            (4) 中高年層（40歳以上）の離職についてどのように考</p>	

	<p>えるか。</p> <p>(5) 専門職とそれ以外で離職状況に顕著な違いは見られるか。</p> <p>(6) 課長補佐級以上の壮年管理職層の離職が目につくが、特にこの層の離職についてどのように考えるか。</p> <p>(7) メンタル面での不調が休職、さらに離職に繋がるという指摘があるが、本市の状況に照らしてどのように捉えているか。</p> <p>(8) 離職理由が前向きなものである場合、本市の側としても「武者修行」として前向きに捉え、将来的に再び本市職員として採用するルートを設けることは考えられないか。</p> <p>(9) バブル崩壊以降の就職氷河期において、公務員は「憧れの職業」であり、正規職員はもとより非正規職員についても優秀な人材を集めることができた。しかし今後は、若年世代の減少に伴い、非正規職員はもとより正規職員についても採用が難しくなることが見込まれる。特に正規職員については従前からの新卒採用中心では必要とする人材を確保できなくなることも想定すべきと考えるがどうか。</p> <p>(10) 令和7年第4回定例会において、副市長より人材育成に取り組みたいとの答弁があった。職員の離職問題に関して副市長の見解を伺う。</p>	
2	<p><b>消防団と資格について</b></p> <p>資格は専門性や特性を示し、一定の能力を担保する指標となる。志願制の組織においては、古くから志願者が保有する資格を活用するとともに、関連する資格取得を支援することが志願するメリットとして強調されてきた。</p> <p>消防団の活動にあたり、資格の持つ特性を活用することができないか伺う。</p> <p>(1) 市として消防団員が保有している資格を把握する仕組みはあるか。</p> <p>(2) 消防団員が保有している資格について、何らかの活用を行う考えはあるか。</p> <p>(3) 消防団員に対し、防災等において有益となる一定の資格の取得支援を行うことは考えられないか。</p>	
3	<p><b>青色防犯パトロール自動車の運用について</b></p> <p>犯罪のない社会は、平穏な市民生活の前提条件となる。</p>	

	<p>その中で、地域住民が主体的に行うことのできる取組として、青色防犯パトロール自動車(以下青パトという。)の運用がある。</p> <p>本市における青パト運用について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 本市における青パト運用の体制はどのようなか。</li> <li>(2) 本市における青パト運用の実績はどのようなか。</li> <li>(3) 本市における青パトの運用にあたり、警察からはどのようなサポートを受けているのか。</li> <li>(4) 青パト運用については全国的に担い手不足が指摘されているが、本市における青パト運用の担い手の確保についてはどのように考えているか。</li> </ol>	
4	<p><b>可動式ブースの活用について</b></p> <p>日東工業株式会社より、長久手市への業務効率化への協力を目的として同社製の可動式ブースが寄贈され、令和7年10月17日に西庁舎1階ロビーに設置された。</p> <p>設置から半年が経過した、可動式ブースの活用について伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 可動式ブースの利用条件はどのようなか。</li> <li>(2) 可動式ブースの利用状況はどのようなか。</li> <li>(3) 使い勝手について、利用者からはどのような声があったか。</li> <li>(4) 来客や電話対応によって思考や作業が中断されることは非効率であり、疲労も加速させる。事務作業やWEB会議に集中できる環境について、同様の可動式ブースの増設も含めて整備していく考えはあるか。</li> </ol>	